

日本天文学会 2009 年度事業計画書

(2009 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日まで)

1. 出版物の刊行

1) 欧文研究報告

第 61 巻 1 号～第 61 巻 6 号、隔月刊、A4 版、発行部数 1,950、年間 1,500 ページ、特集号 1 件 (増刊号) の計画がある

2) 天文月報

第 102 巻 1 号～第 102 巻 12 号、月刊 B5 版、発行部数 3,200、毎号 64 ページを予定

3) 年会講演予稿集

春・秋季年会の講演予稿集 2 巻、発行部数各 850 を予定

4) ジュニアセッション予稿集

春季年会予稿集発行部数 500 を予定

5) 公開講演会冊子

春秋の公開講演会に配付する冊子各 400 部

2. 年会・総会の開催

1) 春季年会を 2009 年 3 月 24 日 (火) から 27 日 (金) にわたって、大阪府立大学 (大阪府堺市。開催地理事: 米倉 覚則) にて開催する。年会期間中に通常総会とジュニアセッション及び天文教育フォーラムを開催する。また、公開講演会は同大・学術交流館で 3 月 28 日 (土) に予定。

2) 秋季年会を 2009 年 9 月 14 日 (月) から 16 日 (水) にわたって、山口大学 (山口市。開催地理事: 藤沢 健太) にて開催する。また、年会期間中に通常総会とジュニアセッション (ポスターのみ) 及び天文教育フォーラムを開催する。公開講演会は山口大学大学会館で 9 月 12 日 (土) に予定。

3. 評議員会、理事会

1) 評議員会: 1 月中旬、7 月中旬および春・秋季年会中に開催予定

2) 理事会: 1 月上旬、7 月上旬および春・秋季年会中に開催予定

4. 各賞の授与

1) 天体発見賞・天体発見功労賞

新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。

2) 日本天文学会研究奨励賞

特に顕著な研究成果を挙げた若手研究者 (3 名以内) を選考し、研究奨励賞を授与する。

3) 日本天文学会林忠四郎賞

天文学の分野において、独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究に対して林忠四郎賞を授与する (1 件)。

4) 日本天文学会欧文研究報告論文賞

日本天文学会欧文研究報告に掲載された論文の中から、特に優れた論文の著者に対して欧文研究報告論文賞を授与する (2 編以内)。

5) 日本天文学会天文功労賞

天体観測活動などが、天文学の進歩及び普及に寄与したことに對して授与する (長期的業績 1 名、短期的業績複数名)。

5. 助成金

- 1) 内地留学奨学金受給者の募集（主にアマチュアを対象）を行い、年内に選考し若干名に奨学金を支給する。
- 2) 早川幸男基金により、若手天文研究者の海外に於ける観測、国際共同研究、もしくは研究発表のための渡航費・滞在費等の援助を行う。
- 3) 賛助会員会費により、院生等の年会(春秋)発表者の旅費補助をする。

6. 各委員会

- 1) 欧文研究報告編集顧問：10名
- 2) 欧文研究報告編集委員会：11名
- 3) 天文月報編集委員会：11名
- 4) 年会実行委員会：10名
- 5) 天文教育委員会：9名
- 6) 選挙管理委員会：5名
- 7) 林忠四郎賞選考委員会（欧文研究報告論文賞を含む）：6名
- 8) 研究奨励賞選考委員会：5名
- 9) 天体発見賞選考委員会（天文功労賞を含む）：6名
- 10) 内地留学奨学金選考委員会：6名
- 11) 早川幸男基金選考委員会：5名
- 12) ネットワーク委員会：2名
- 13) 天文教材委員会：9名
- 14) 創立100周年記念出版事業編集委員会：17名
- 15) ジュニアセッション実行委員会：6名
- 16) 男女共同参画委員会：6名
- 17) 衛星設計コンテスト推進委員会：4名

8. 後援事業等

- 1) 本年度は国際連合等で定められた世界天文年にあたり、関係各方面と協力しながら積極的に推進する。
特に国立科学博物館と共催で、世界天文年関連の展示を行う。
- 2) 他の学術団体等の天文関係諸企画に対して、可能な限り後援・協賛等をする。

9. その他

- 1) 民間財団等の、研究助成公募および天文学に関連した賞に対して、優れた研究者を学会から積極的に推薦する。

以 上